

破壊的価値創出のための 進化論とビジネス理論の通渉

2014. 3

Kim, KunHo (ソウルベンチャー大学院経営学博士課程)
Han, Hee (韓独メディア大学院大学校教授)
Hwang, Changyu (ソウルベンチャー大学院大学校教授)

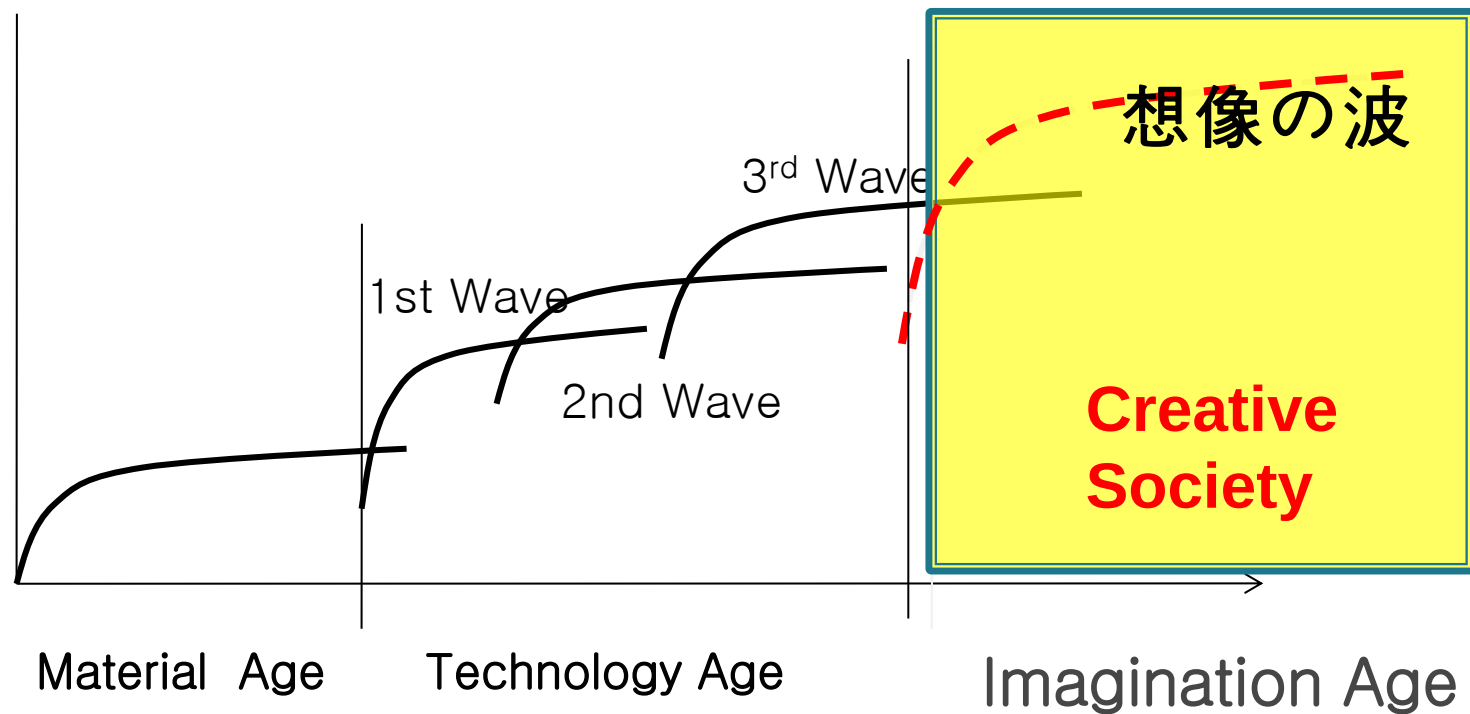
順 序

- ▶ 研究の 背景 / 目的
- ▶ 先行 研究 まとめ
 - ビジネス革新の 理論研究動向
 - 進化論の 研究動向
- ▶ 進化論と 革新理論の通渉(Consilience)
- ▶ 遺伝子置換に基づく破壊的イノベーションの方法論
- ▶ 事例分析
- ▶ 結 論

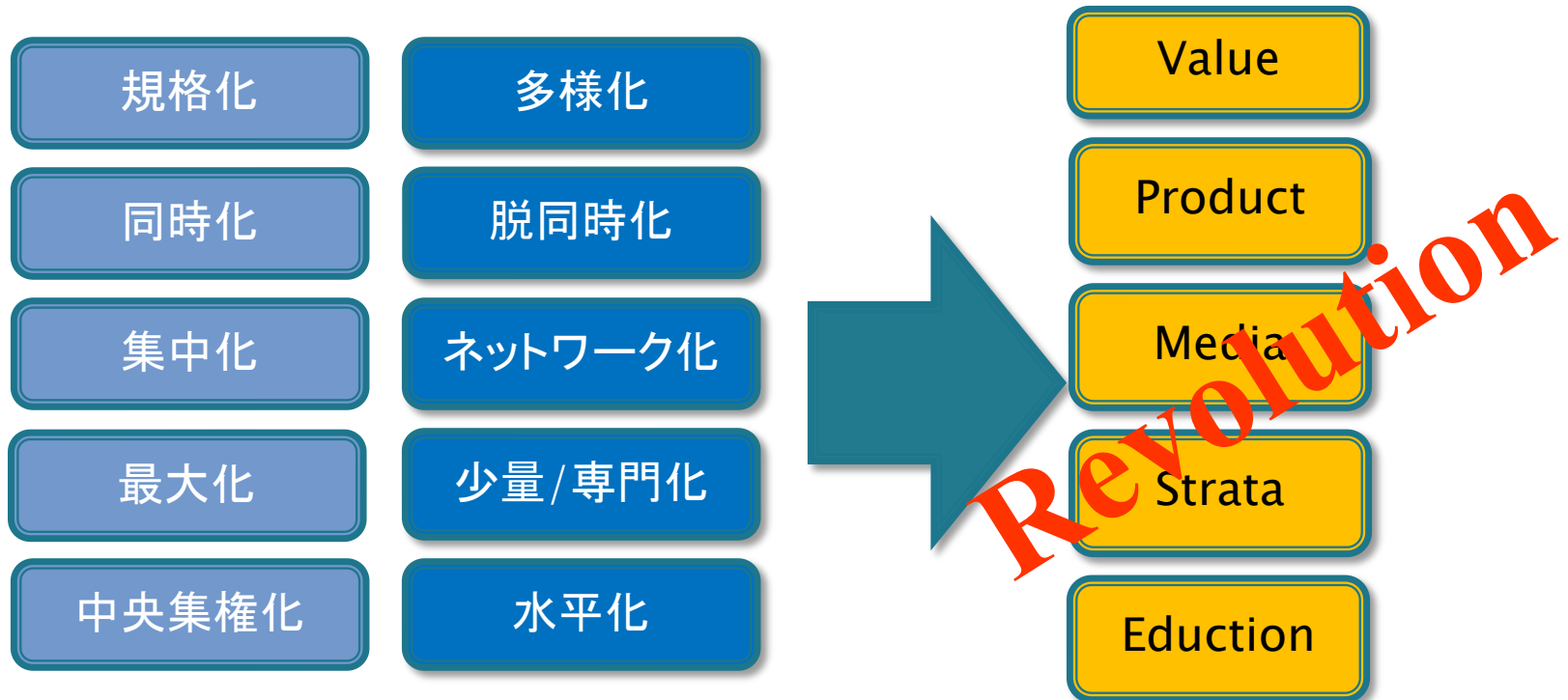
研究要約

- ▶ **生命体と製品の生存 / 淘汰の過程の類似性に着目**
 - 断続平衡理論と破壊的イノベーション理論の通渉を試み
- ▶ **突然変異のメカニズムを破壊イノベーション理論に取り入れ**
 - イノベーション戦略の限界を克服することができる新たな破壊的イノベーションの方法論を提案

研究の 背景

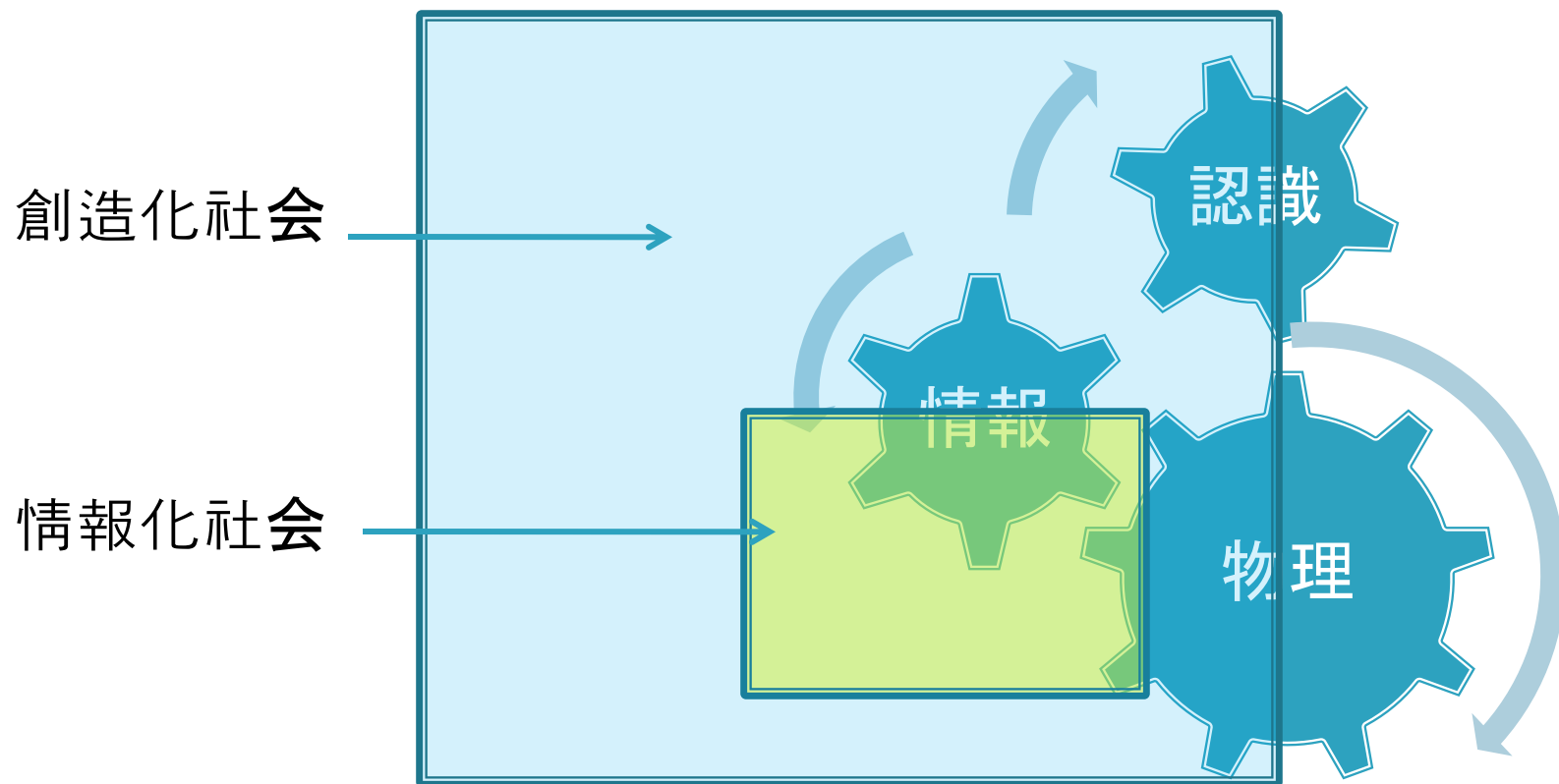


New Age's Paradigm

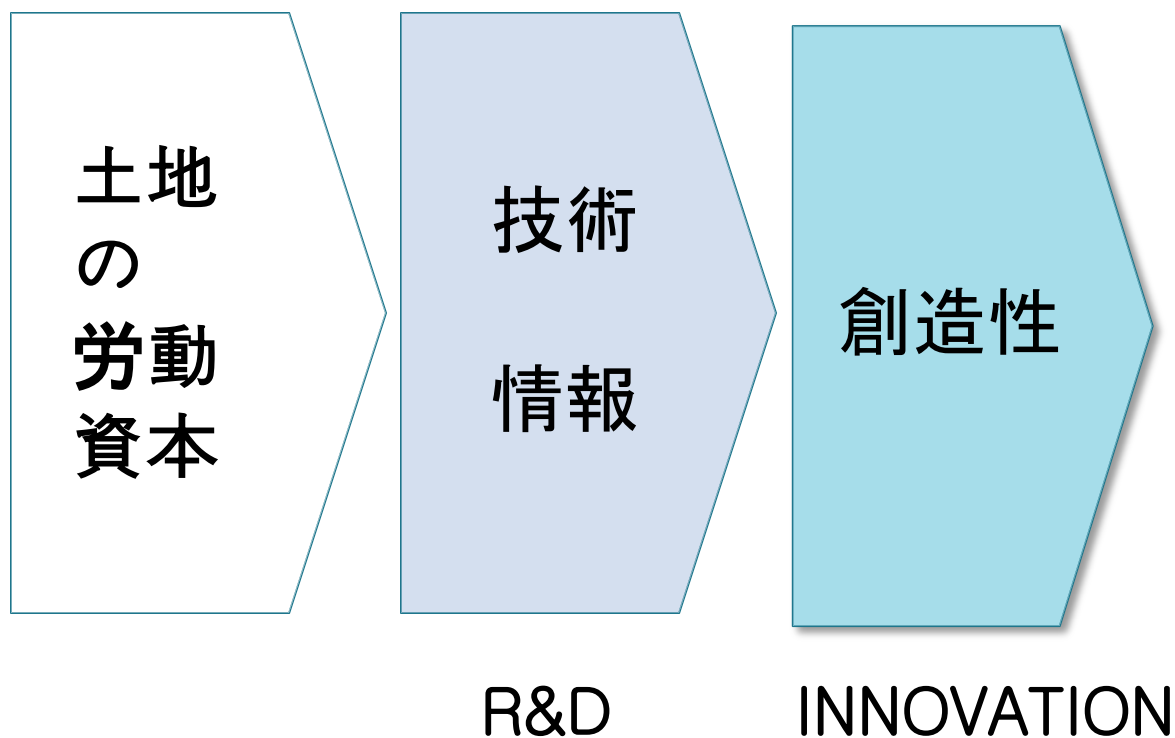


サイバースペースの拡張

サイバースペース(2014)



価値中心の移動



先行研究の要約

▶ Innovation 理論 研究

破壊的イノベーション
クリステン(1997)

破壊的/存続的
イノベーション

新たな感動製品に既存の市場を破壊
新たな市場の創出

ブルーオーシャン
戦略
Kim (2000)

価値曲線:

顧客価値の調整に
新市場の創出

新価値を顧客から
把握

妨害
ルーク(2010)

破壊的仮説の書き方

ターゲットの定義,
下まげ性を発見,
創造的思考

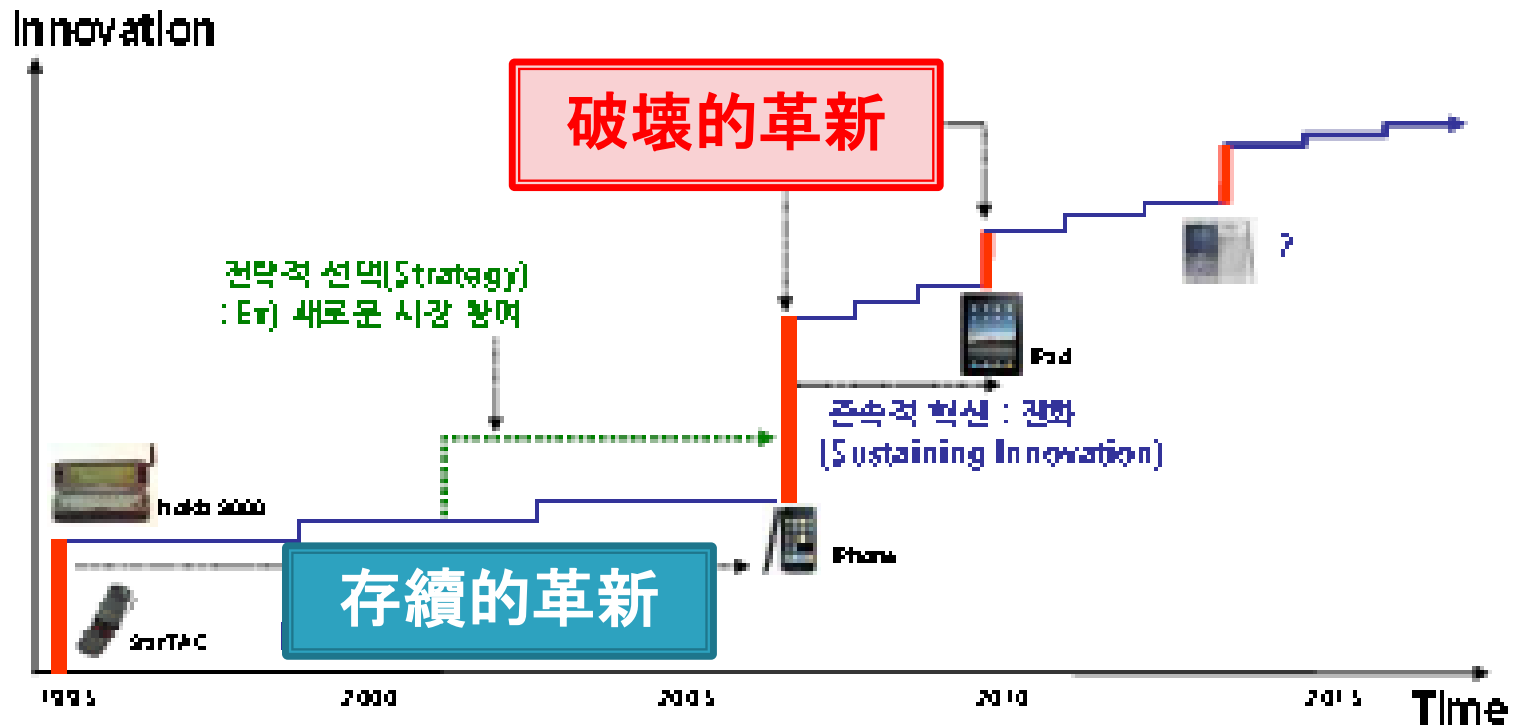
韓国内,

破壊的イノベーションのケーススタディ

破壊的イノベーションの兆候探知方法の研究
組織次元の革新を管理する方法の研究

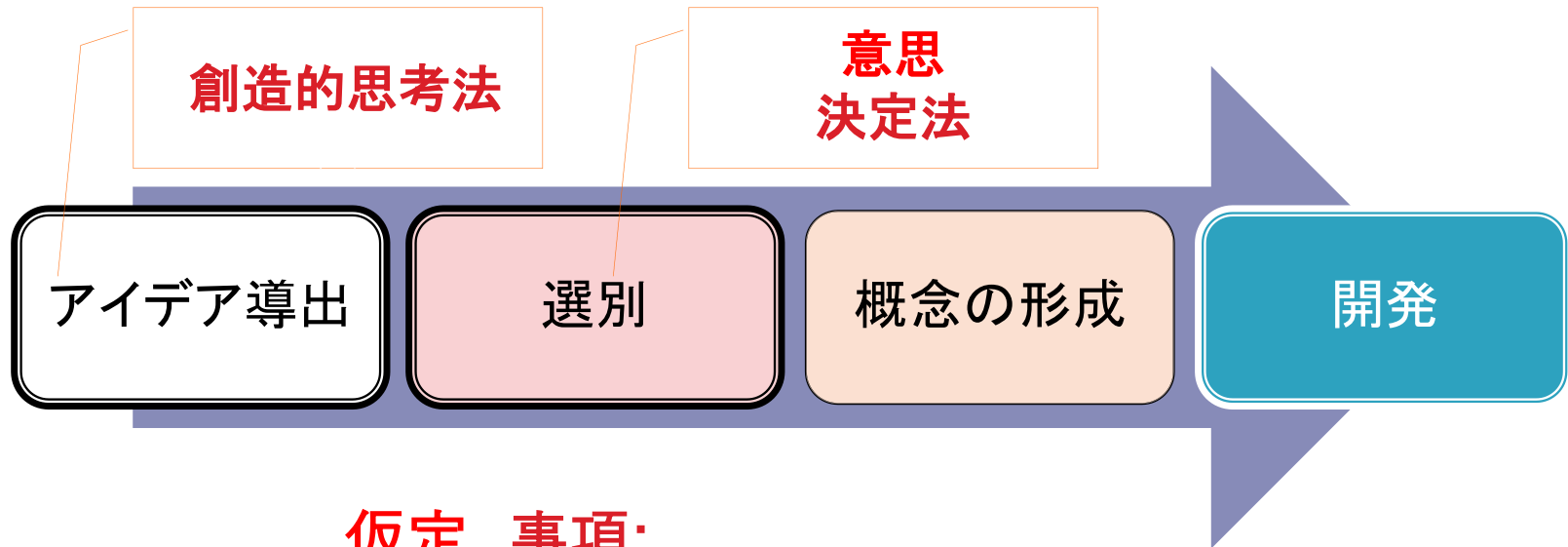
▶ 破壊的イノベーション(例: Mobile Market)

모바일 시장의 파괴적 혁신과 연속적 혁신



자료: KDB대우증권 리서치센터

▶ 製品イノベーションのプロセス



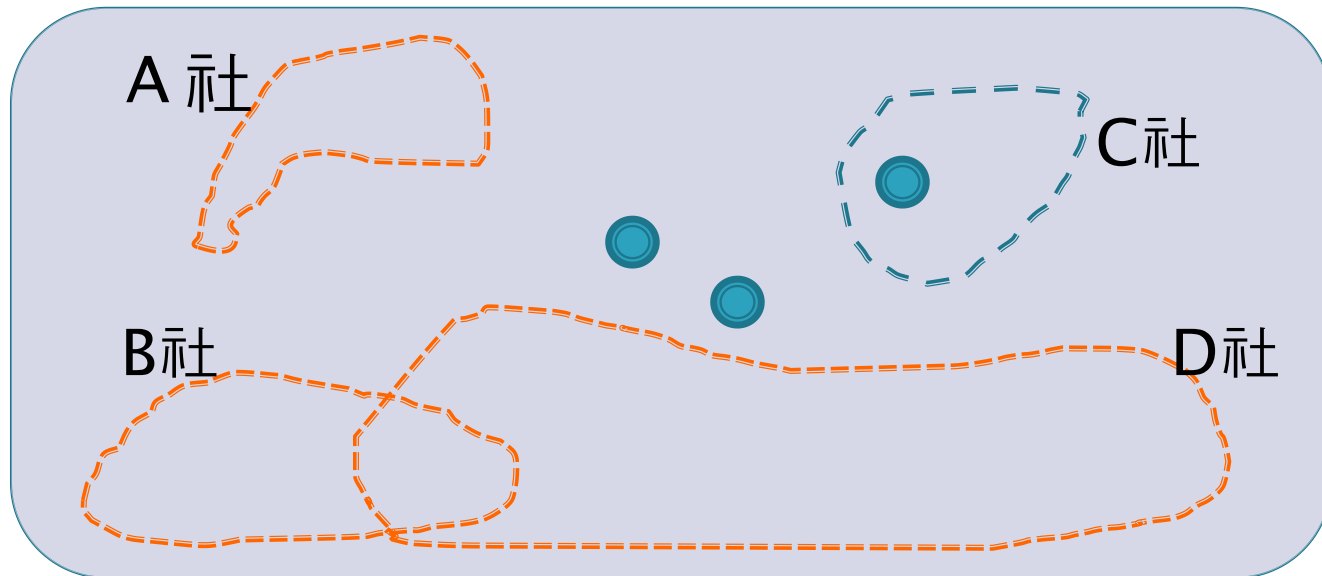
仮定 事項:

アイデアが多ければ多いほど成功のアイデアを含む確率が大きくなる。

しかし、

アイデアが多くなると選別に成功する確率は小さくなる。

▶ 問題点

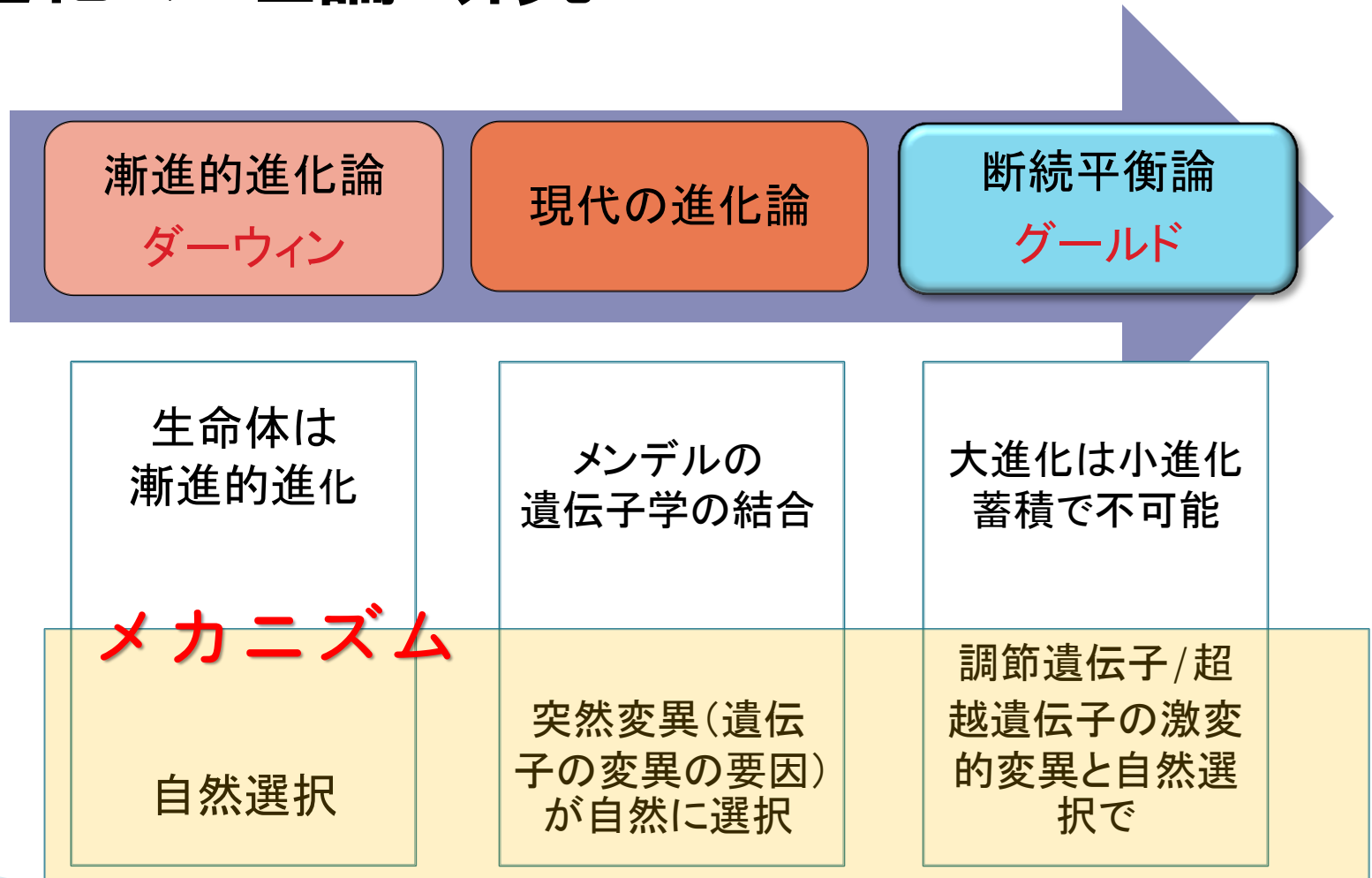


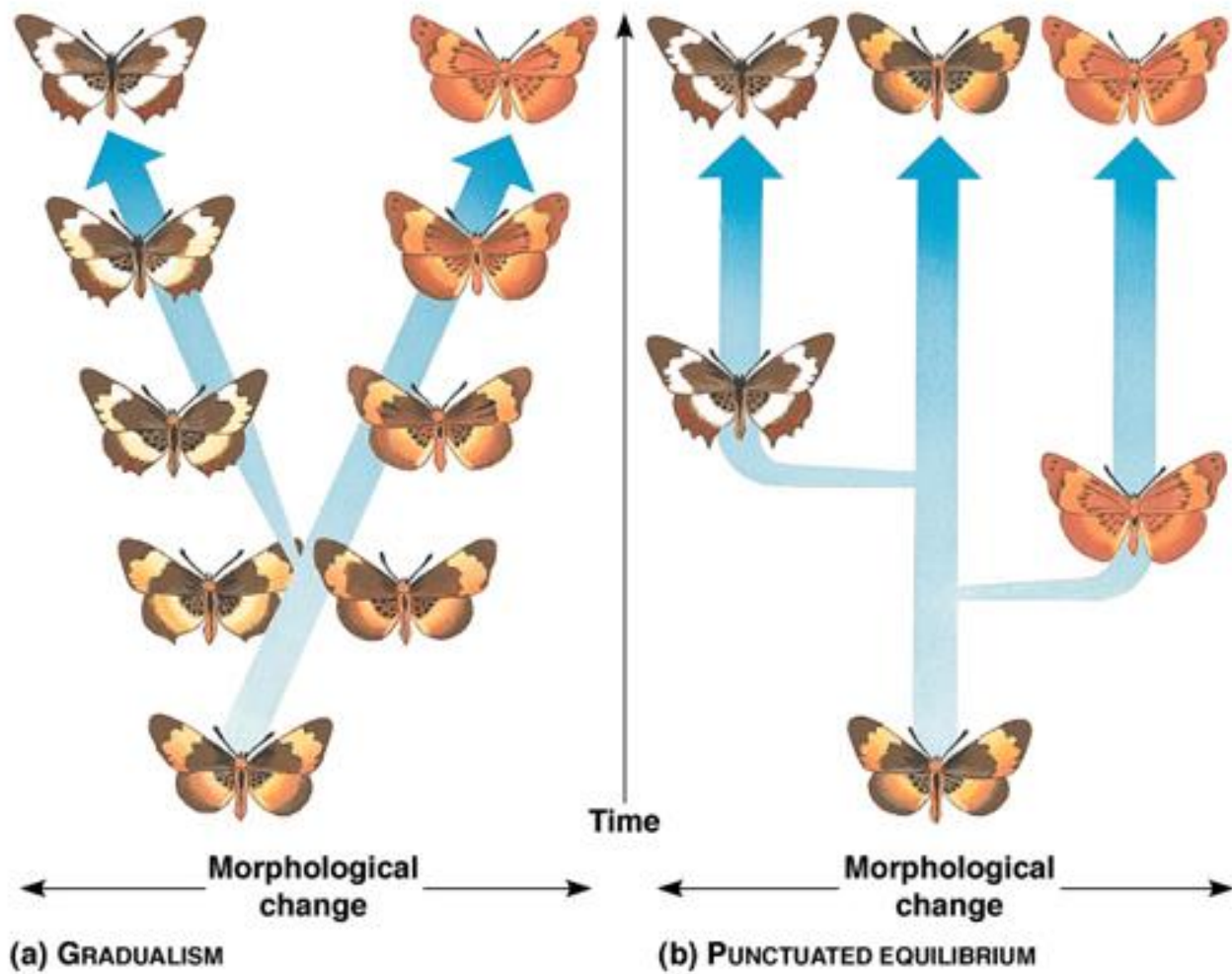
どのように多くのアイデアが必要？
いつのアイデア導出を停止するのか？
アイデアの中から選別されたのは、生存可能なのか？

**革新製品の市場の失敗は、
アイデア導出停止の時点で既に決定！**

具体的方法論の不在で
同じアプローチをしている
ほとんどの革新的な製品は
革新生態系で淘汰

▶ 進化の 理論 研究





進化論と革新理論の通渉

- ▶ 通渉(Consilience)とは?
 - さまざまな分野で導出された帰納的真実が一致または整然の一貫性を見せるの状態

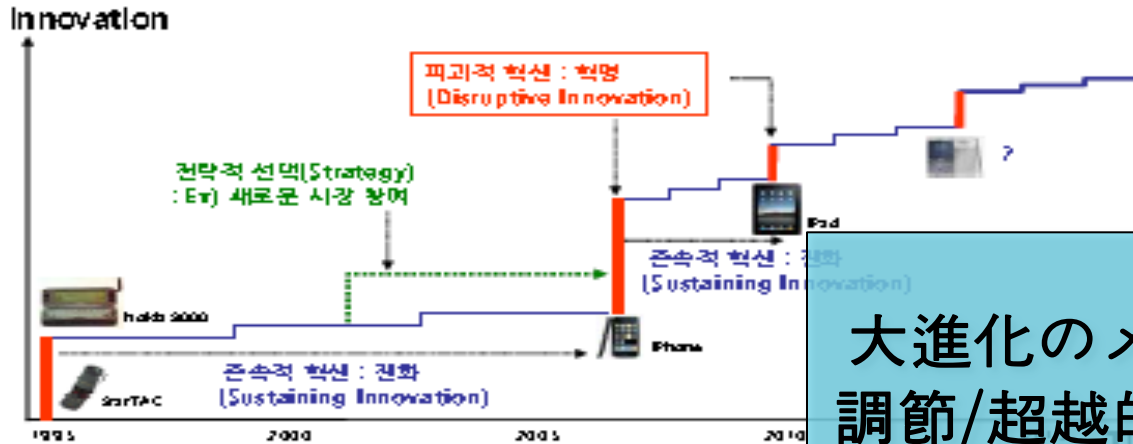
本論文では、
断続平衡理論と破壊的革新理論の
通渉を試み

▶ 一貫性の分析

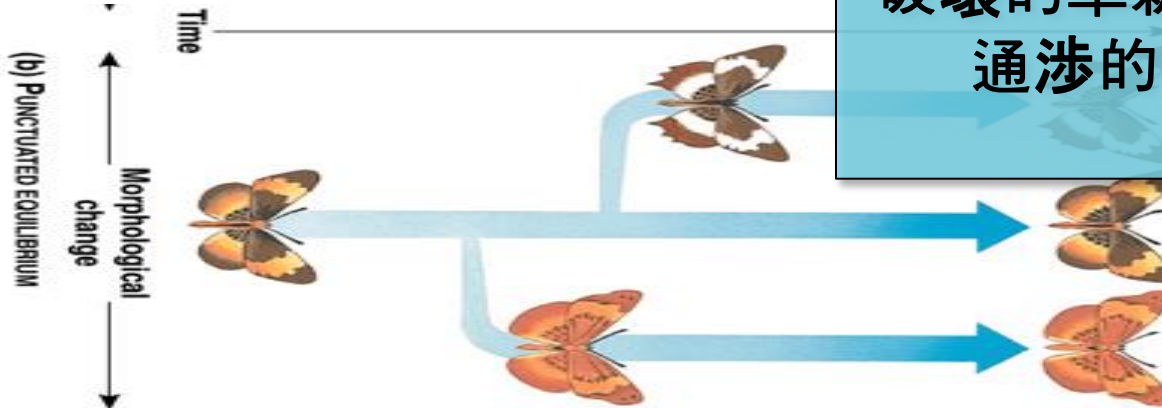
区分	進化論 (断続平衡理論)	革新論 (破壊的革新理論)
対象	生命体	製品/サービス
生存条件	自然選択	市場(顧客)の選択
過程	断続平衡的/漸進的	破壊的/存続的
結果	新しい種の生成(分化)	新製品/市場の創出
変化要因	自然の生態系の変化	技術/市場の生態系の変化
メカニズム	根本的遺伝子急速変化	製品の遺伝子置換？
主管者	自然	企業

모바일 시장의 파괴적 혁신과 연속적 혁신

Copyright 2009 Pearson Education, Inc.

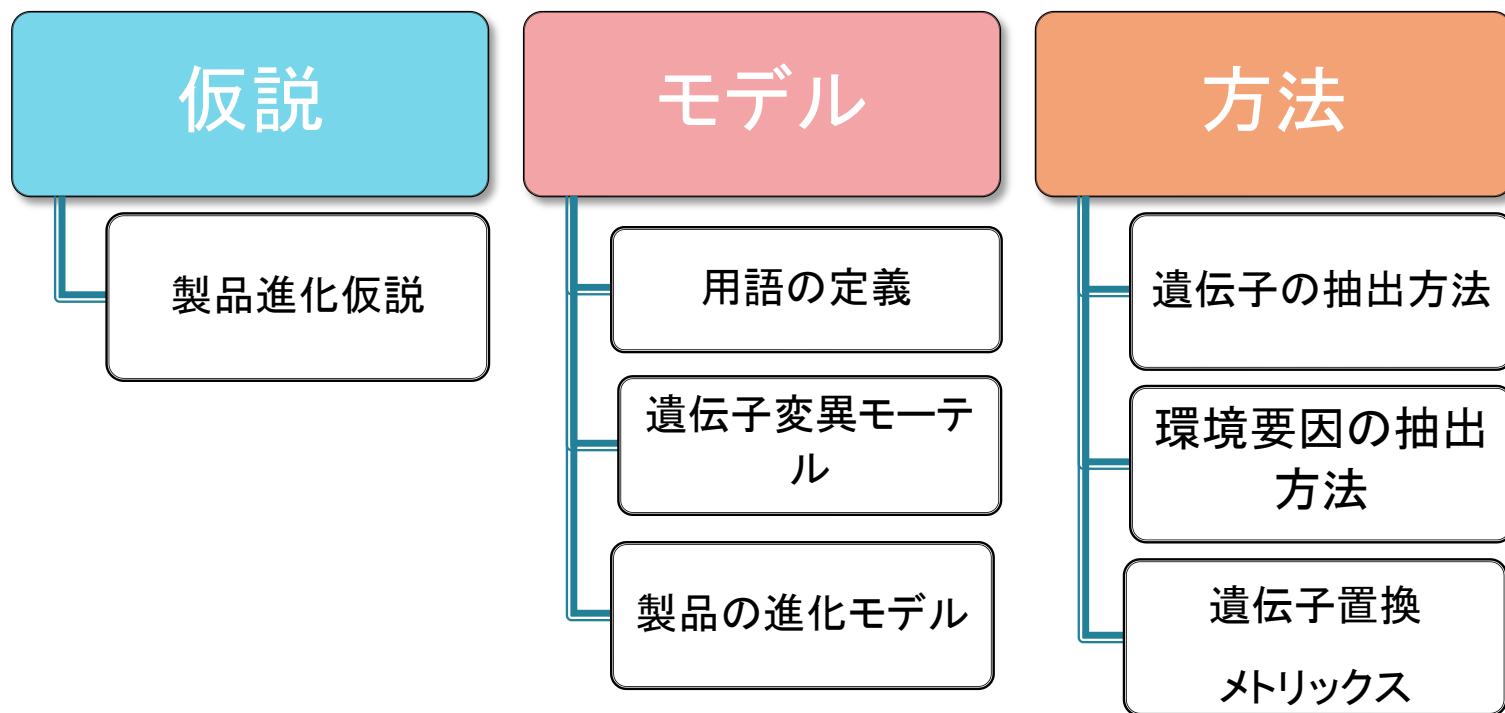


자료: KDB에 무늬권 디서커블



大進化のメカニズムである
調節/超越的な遺伝子置換を
破壊的革新のメカニズムに
通涉的に使用が可能

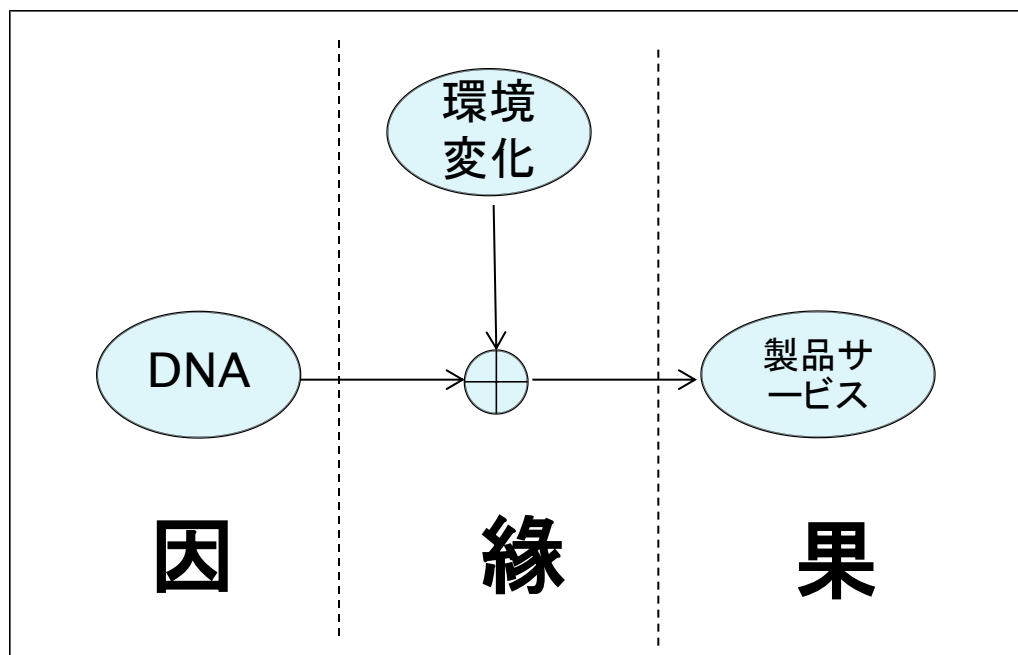
破壊的革新の方法論の提案



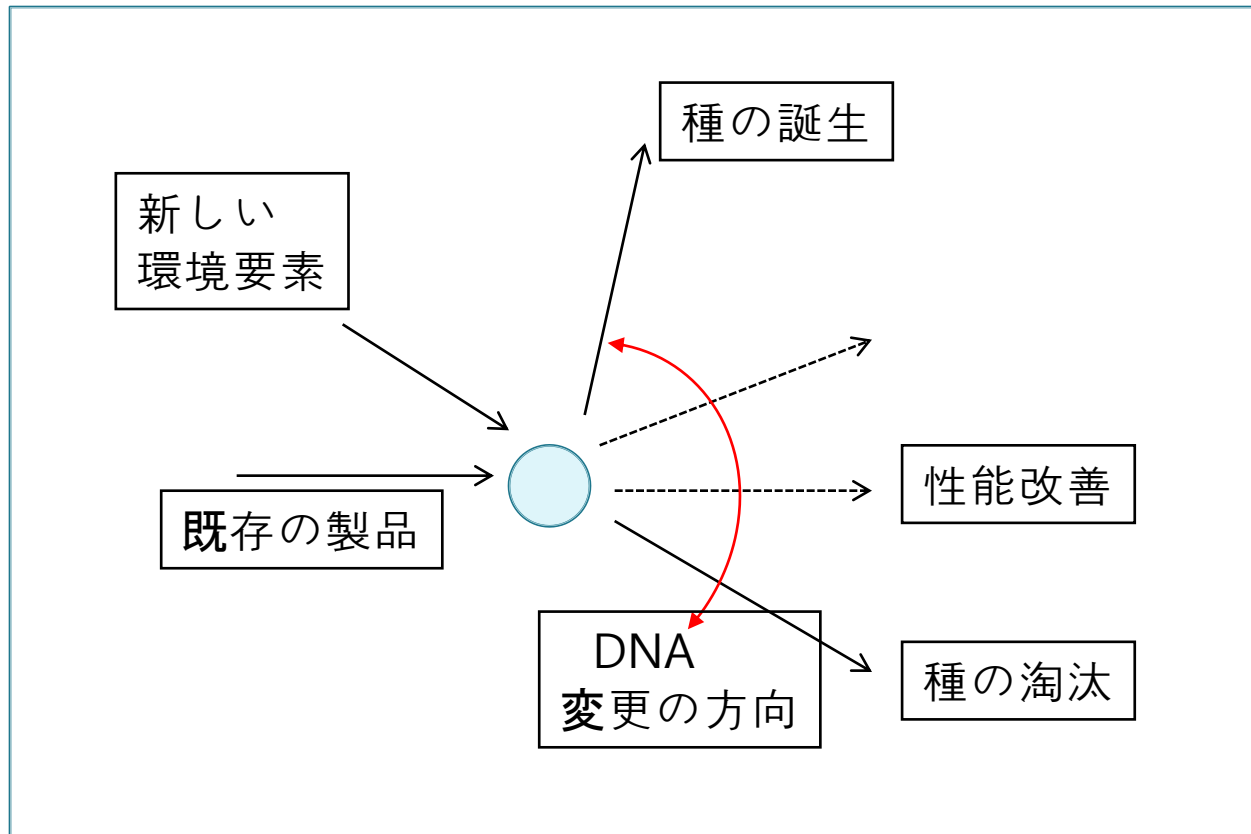
▶ 製品 / サービスの進化の仮説

- 製品は、環境と結合し進化して主管者は、企業である。
- 環境の変化に最適進化させただけの市場によって選択される。
 - 現在の製品は、最適な進化の産物である。
- 製品は、漸進的小進化と急進的大進化を繰り返す。
 - 漸進的小進化：遺伝子変異のない性能の進化
 - 急進大進化：遺伝子の変異による新製品 / 新市場

製品 / サービスの進化モデル



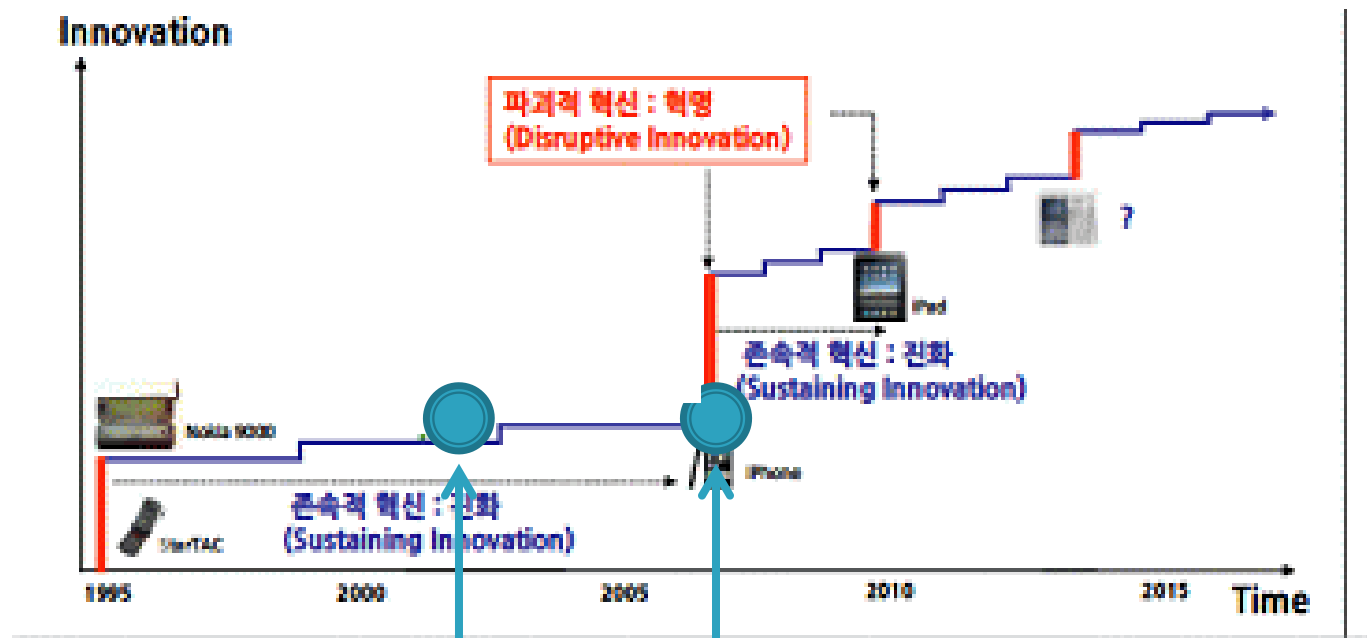
製品は、環境と結合して進化して
進化の主管者は企業である。



製品は、漸進的小進化急進的大進化を繰り返す。

－漸進的小進化：遺伝子変異のない性能の進化

－急進的大進化：遺伝子の**変異**による新製品/新市場



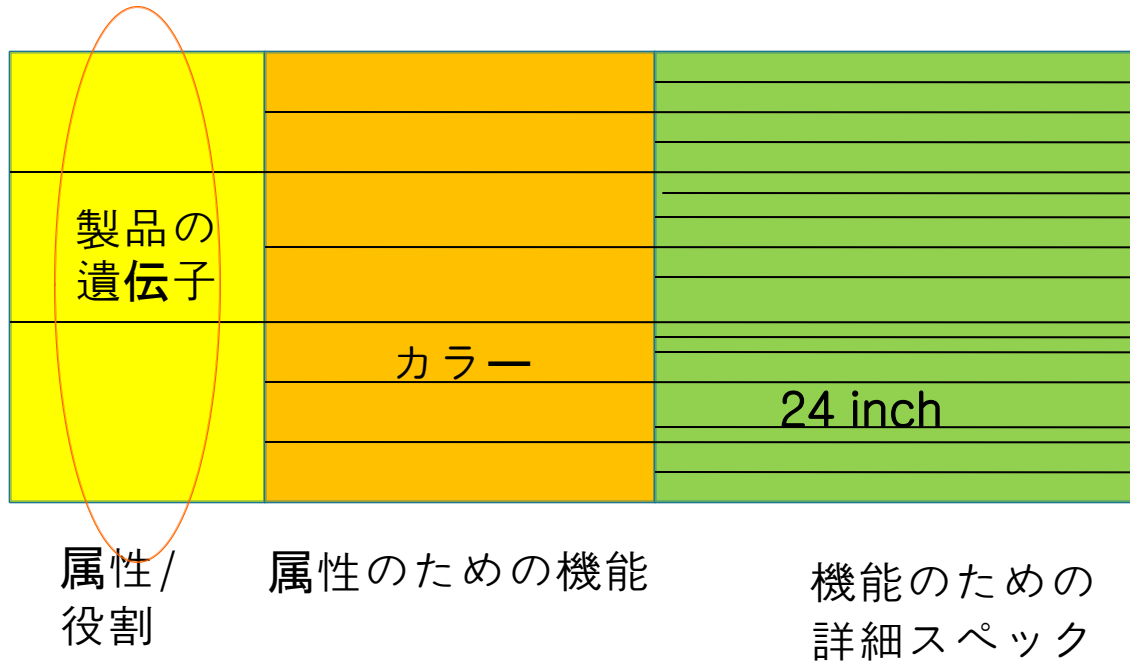
자료: KDB대우증권 리서치센터

環境要因が
性能に作用

環境要因が
DNAに作用

○ 製品の遺伝子の定義 (大)

- 製品誕生時から変わらずに維持される根本的属性
- 製品の進化途上のすべての製品に共通的に発見された属性

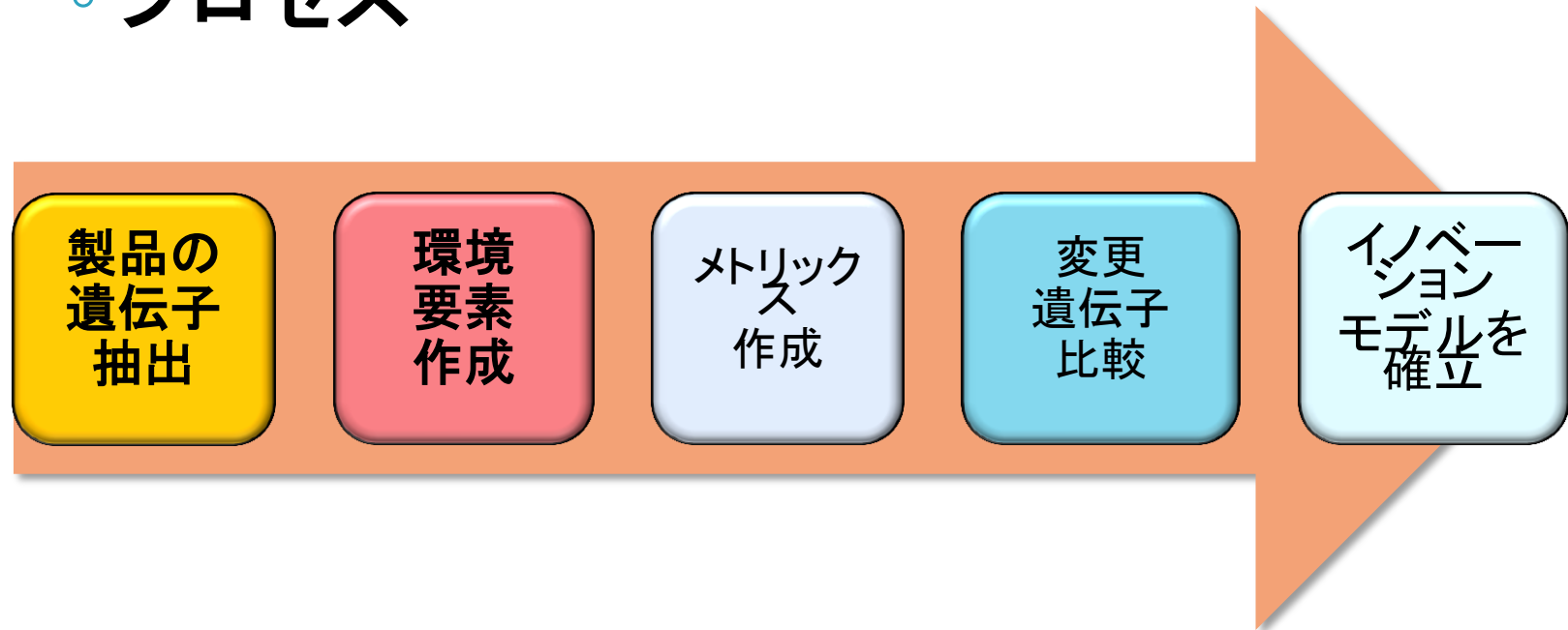


○環境要因(縁)

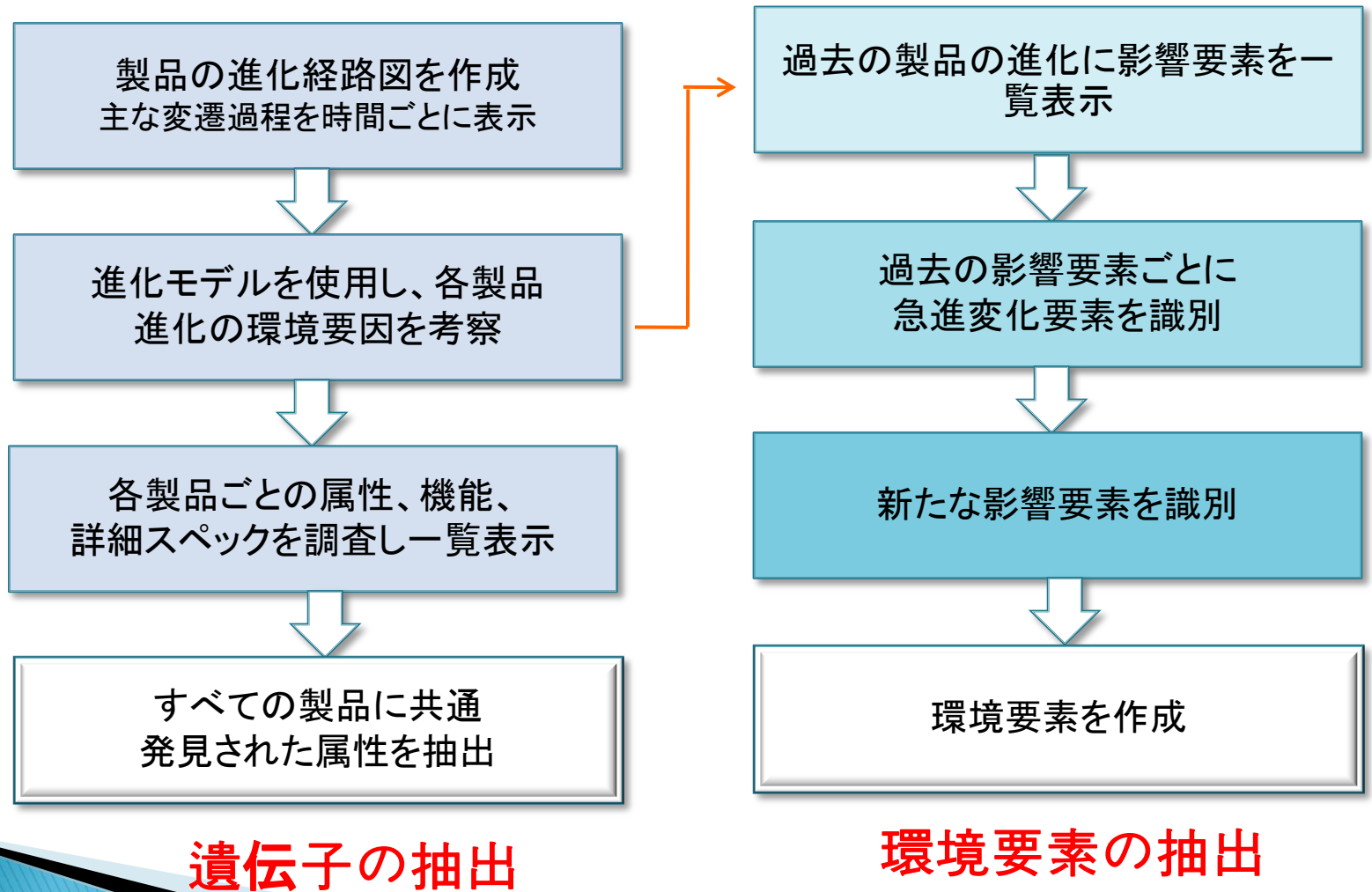
- ・製品の実装に影響を与えること
 - ・物的環境要素: 技術、素材、他製品など
 - ・心的環境の要素: お客様のライフスタイル、ニーズ

▶ 製品の破壊的イノベーションの方法

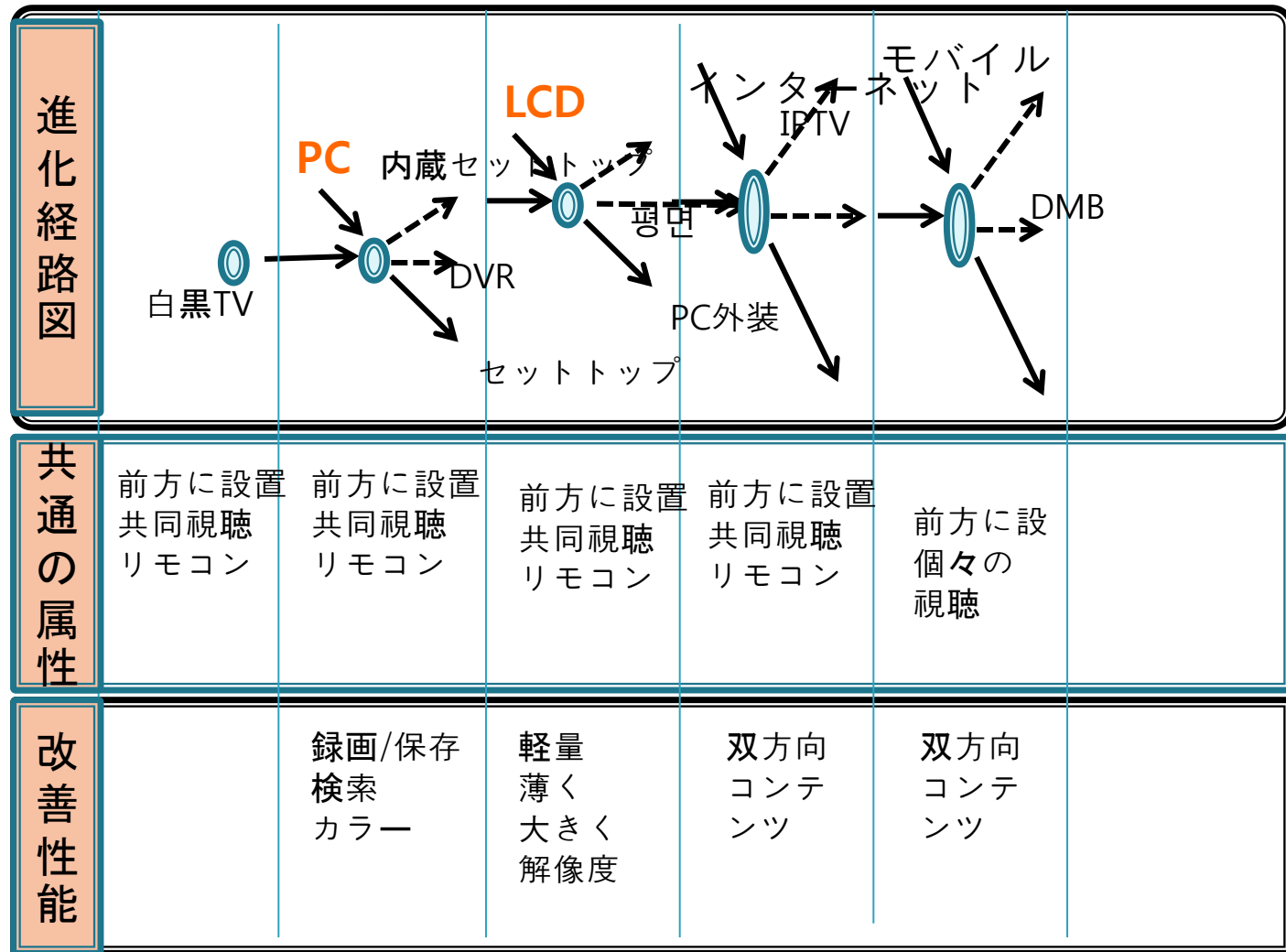
○ プロセス



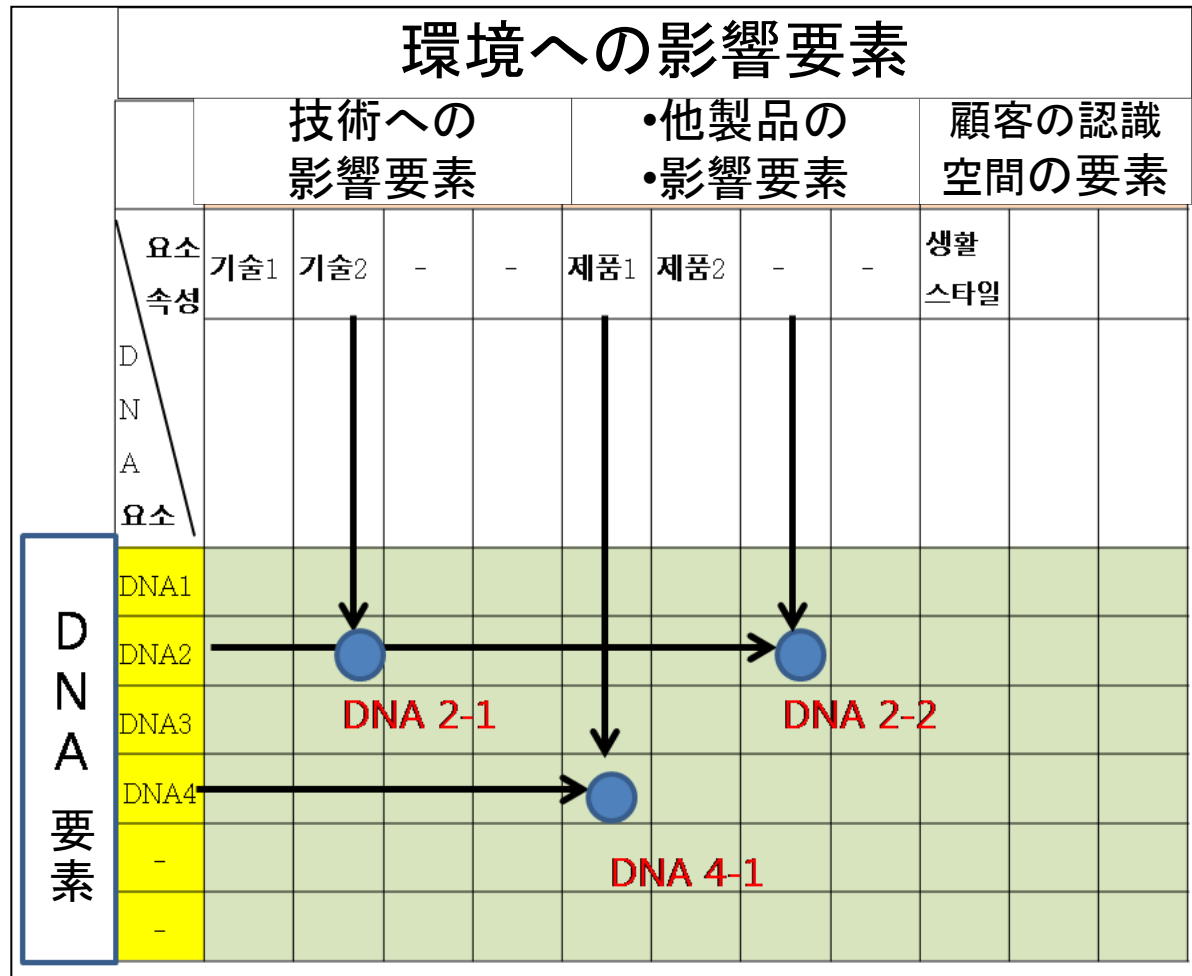
▶ 製品破壊的革新の方法



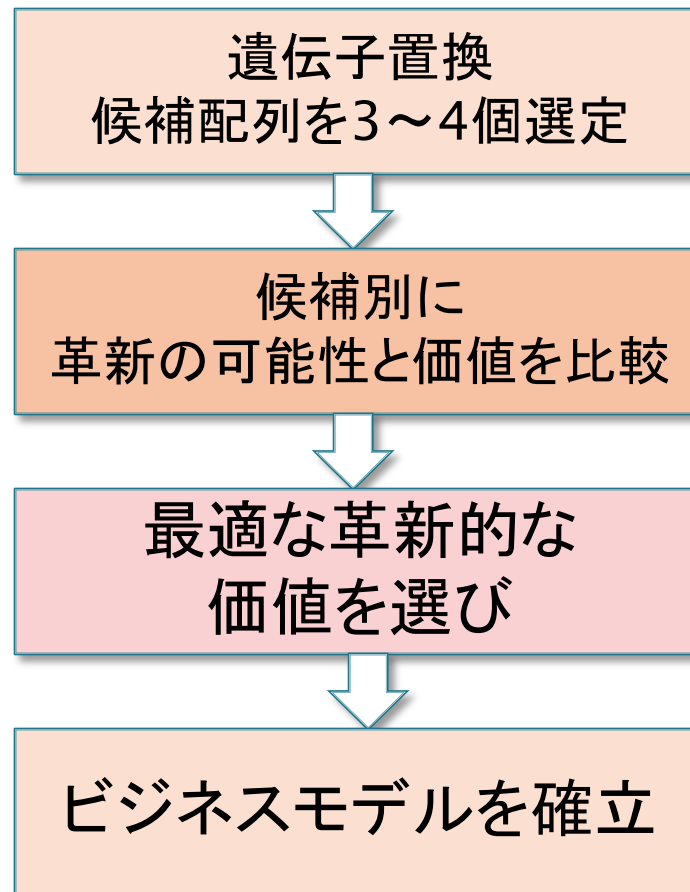
○ 遺伝子の抽出(例：TV))



▶ 遺伝子置換メトリックス



▶ 最適のよい考えの選択

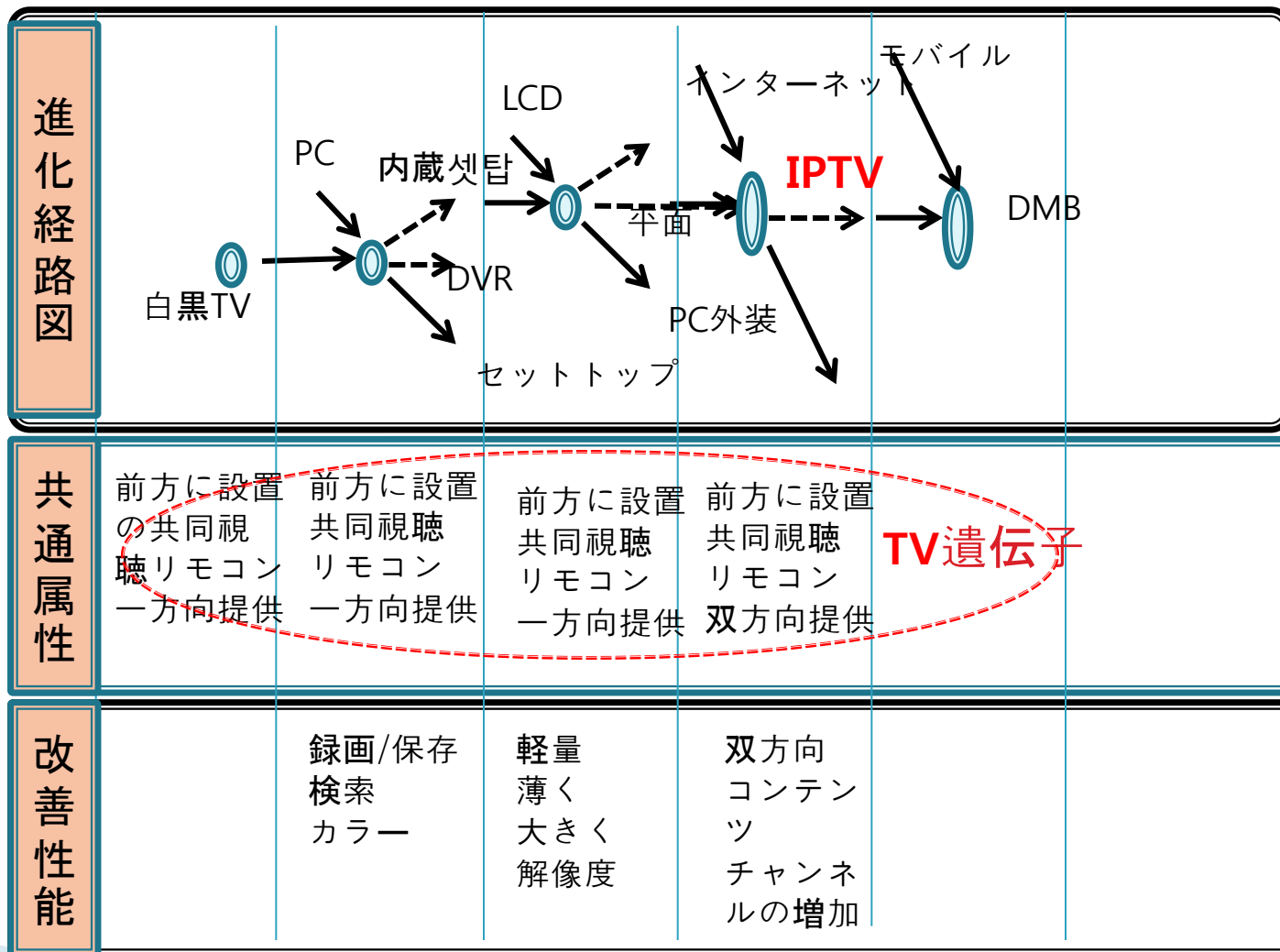


適用事例の分析(IPTVの破壊的革新)

▶ IPTV概要

- TV,インターネットコンピュータの融合による新たなサービス提供の可能性 の期待に多くの研究が行われました
- ・ 概念ではなく実装に集中
 - TV画面上にウィンドウを浮かべて、双方向の付加サービスの実装試み
 - 多段階の操作を複雑なリモコンで解決試み

TV遺伝子の抽出



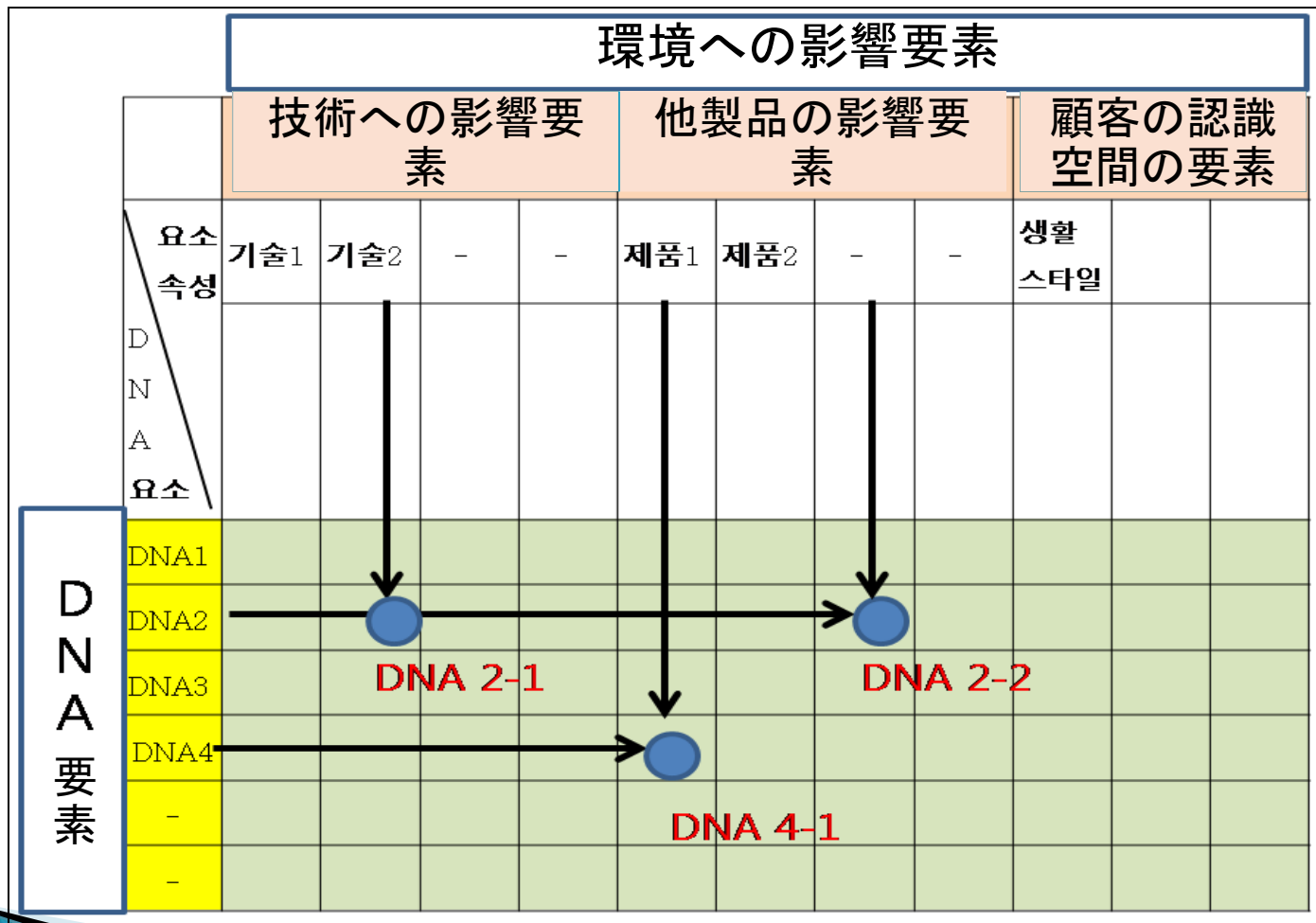
▶ TV遺伝子

- 第1の遺伝子: 前に置いて視聴
- 第2の遺伝子: 多数が共同視聴
- 第3の遺伝子: 遠くからチャンネル調整
- 第4の遺伝子: 一方向的コンテンツ提供

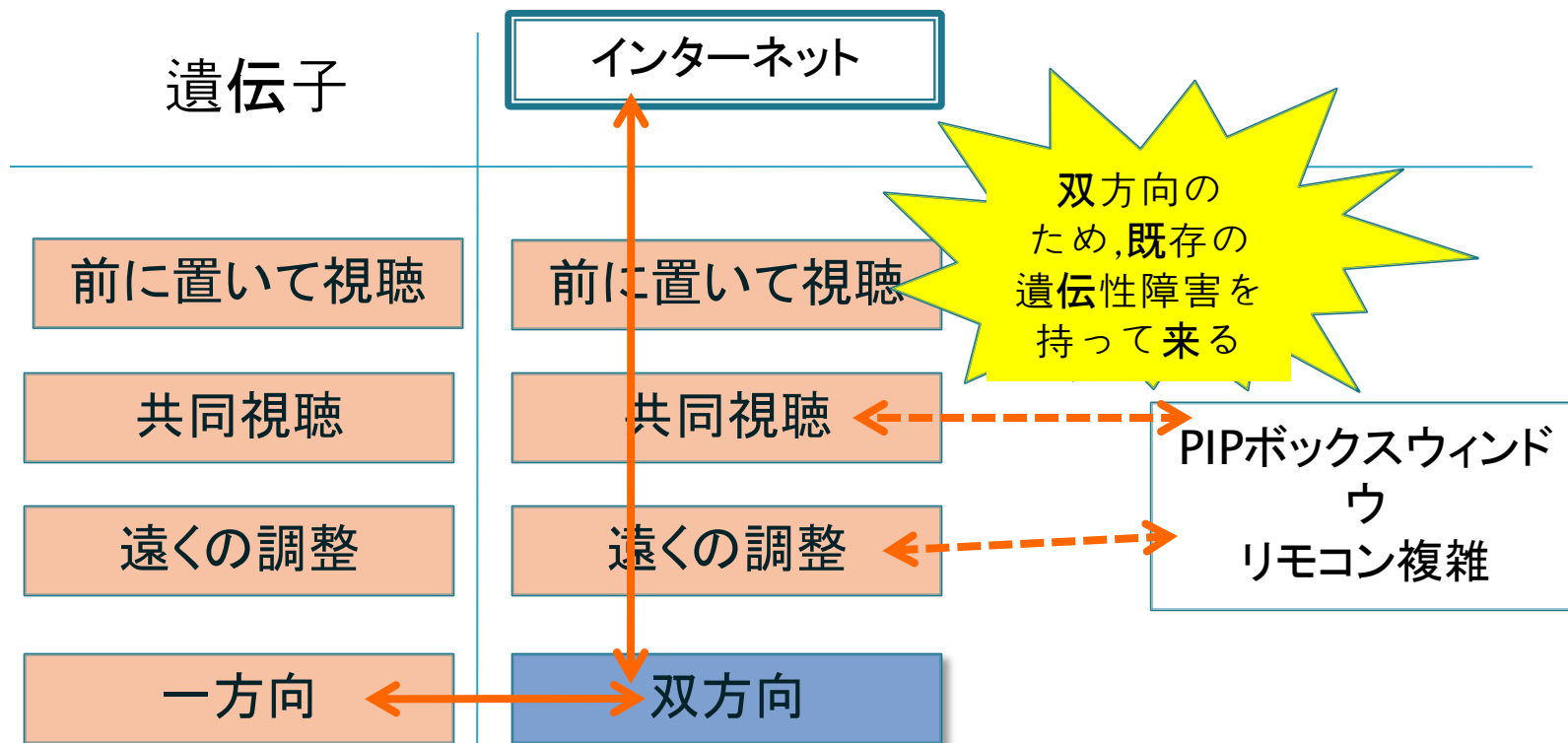
▶ 影響要素

- PC(処理、保管)
- LED(薄くて軽くて鮮明)
- インターネット(双方向、検索..)
- 新しい要素: スマートフォン、ライフ

▶ 遺伝子置換メトリックス

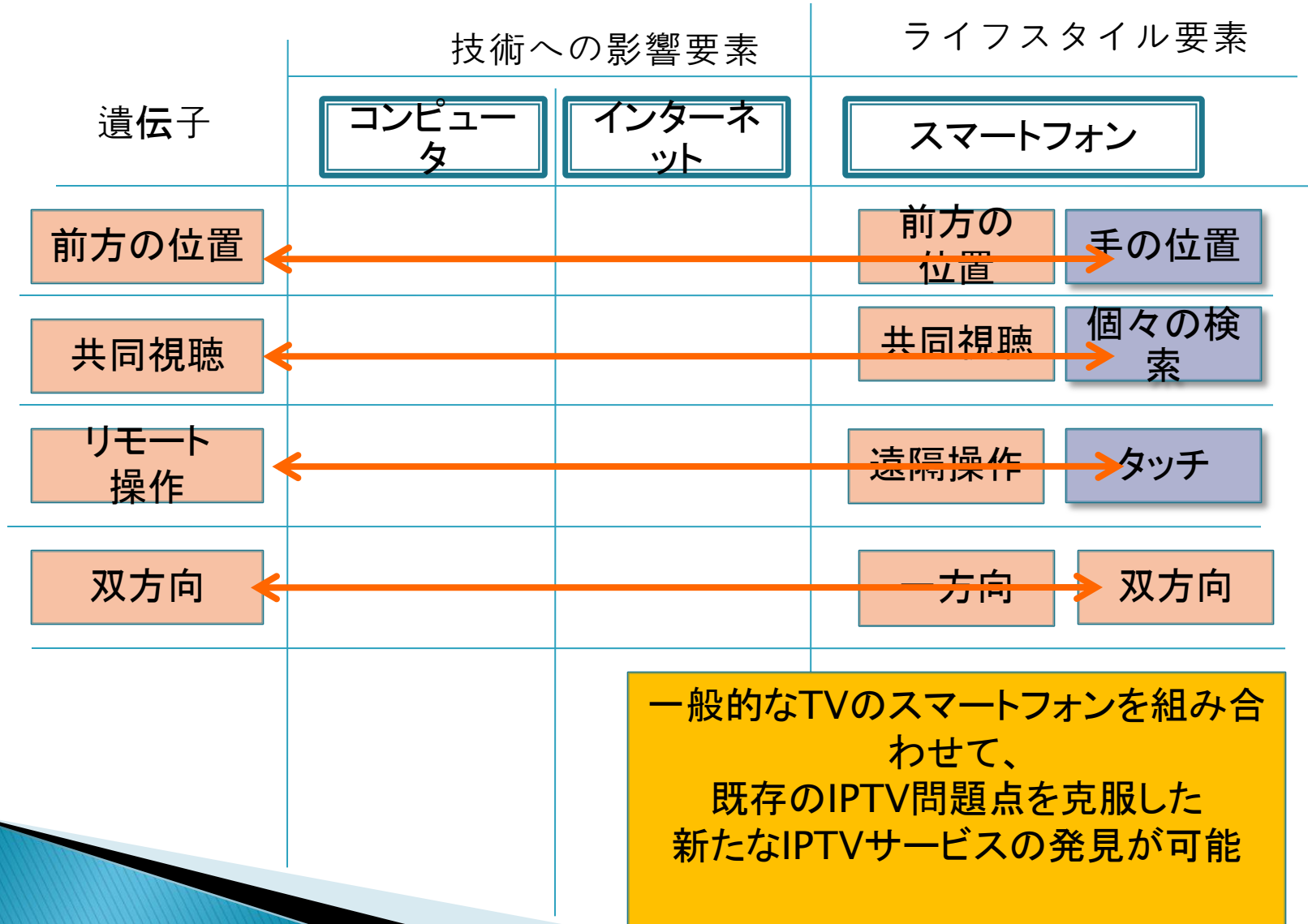


▶ 既存のIPTV



“スマートTVの使用時間の99.6%TV視聴”
KISDI, 2013.2

▶ 新しいIPTV サービス



▶ 개념도



統合TVアプリ
りに
詳細検索

一般放送提供

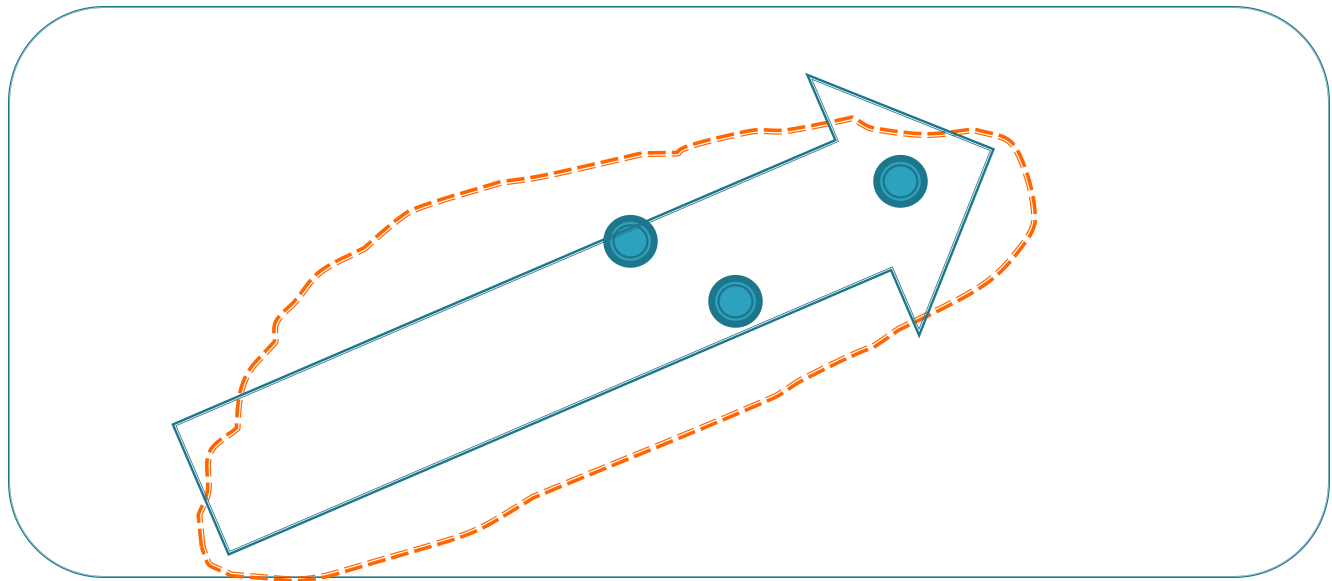


付加情報の統合
サービス
・プロバイダ

放送と同期された
その他の情報

▶ 提示された方法は、

水平思考による発散的探索に
根本的な属性という方向性を与える



結論

- ▶ 本論文では、
進化と革新理論の通渉を試み
- ▶ **因果**に革新理論の適用
破壊的革新の具体的な方法論を提案
 - 製品の遺伝子置換にブレインストーミングの限界を克服
 - 構造的な革新案を提示
 - IPTVに適用され、有用性を確認
- ▶ 創造経済の価値創出のための方策導出

ありがとうございました！